

福岡県トラック協会 会員の皆様へ

■標準的な運賃を活用する場合の運賃料金変更届出の留意事項

- ①運賃料金変更届出書の様式は、福ト協のホームページからダウンロードできます。
<https://hearty.or.jp/publics/index/24/>
- ②福岡県に本社（主たる事務所）がある会員事業者の届出窓口は、福ト協 千早分室又は福岡運輸支局です。持参される場合は千早分室に持参してください。郵送される場合は福岡運輸支局へ郵送してください。
- ③届出部数は計3部（九州運輸局・福岡運輸支局・事業者控え）で、届出書に事業者印の押印は不要です。なお、福岡運輸支局へ郵送で届出する場合は、受付後、事業者控えが返送されますので、返送先を記入して切手を貼付した返信用封筒を必ず同封してください。
- ④標準的な運賃をそのまま適用する場合、距離制や時間制の運賃表の添付は不要です。
- ⑤燃料サーチャージ（別添1）の設定又は変更は任意となります。設定又は変更する場合は、記載例を参考に自社に適した内容で作成し、添付してください。
- ⑥運賃料金適用方（別添2）は、記載例を参考に自社に適した内容で作成し、添付してください。
なお、「積込料及び取卸料」を記載する必要があります。
- ⑦今回の届出前に適用していた旧運賃が分からない場合は、福岡運輸支局 輸送部門にご相談ください。
- ⑧福岡県以外の県にも営業所がある場合、別紙の「一般貨物自動車運送事業運賃変更届送付先」を作成し、添付してください。

【運賃料金変更届出書提出先】

◎持参する場合

公益社団法人福岡県トラック協会 千早分室
福岡市東区千早3-9-23 福岡交通会館内 電話092-671-0338

◎郵送する場合

福岡運輸支局 輸送部門
〒813-8577 福岡市東区千早3-10-40 電話092-673-1191

【標準的な運賃に関するお問い合わせ先】

◇福岡運輸支局 輸送部門

福岡市東区千早3-10-40 電話092-673-1191

◇公益社団法人福岡県トラック協会 業務二課

福岡市博多区博多駅東1-18-8 電話092-451-7845

〔記載例〕

届出する日

様式 1

事業者番号

令和●年●月●日

九州運輸局長 殿

住 所 福岡県福岡市博多区○-○-○
氏名又は名称 ○○○運送株式会社
代表者の氏名 ○○ ○○
電 話 番 号 000-000-0000

代表者印は不要

一般貨物自動車運送事業の運賃及び料金設定（変更）届出書

一般貨物自動車運送事業の運賃及び料金を下記のとおり設定（変更）したので、
貨物自動車運送事業報告規則第2条の2の規定に基づき届出いたします。

記

1. 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名

住 所 福岡県福岡市博多区○-○-○

氏名又は名称 ○○○運送株式会社

代表者の氏名 ○○ ○○

2. 事業の種別

一般貨物自動車運送事業

3. 設定し、又は変更しようとする運賃及び料金を適用する運行系統又は地域

全国

燃料サーチャージを設定又は変更する場合✓（設定任意）

4. 設定し、又は変更しようとする運賃及び料金の種類、額及び適用方法

種 類 貸切運賃 燃料サーチャージ（別添1のとおり）

新) 運賃及び
料金の額 一般貨物自動車運送事業に係る標準的な運賃（令和2年国土
交通省告示第575号）のとおり

(適用) 北海道 東北 関東 北陸信越 中部
近畿 中国 四国 九州 沖縄

適用方法 別添2のとおり

標準的な運賃を適用する営業所がある地域に✓

旧) H2運賃 H6公示運賃 H9公示運賃 H11公示運賃

その他（別添3のとおり）

今回の変更届出前に適用していた運賃に✓

5. 実施日

令和●年●月●日より実施

標準的な運賃を適用した日（届出する日と同日又は以前の日）

燃料サーチャージについて

1. 以下の算出方法による。

基準価格：100.0円 スタンド価格による。

改訂する刻み幅：5.0円

改定条件：改定の刻み幅 5.0円/Lの幅で軽油価格が変動した時点で、翌月から改定する。

廃止条件：軽油価格が100.0円/Lを下回った時点で、翌月から廃止する。

計算式：(距離制運賃)

走行距離 (km) ÷ 燃費 (km/L) × 算出上の燃料価格上昇額 (円/L)

(時間制運賃)

平均走行距離 (km) ÷ 燃費 (km/L) × 算出上の燃料価格上昇額 (円/L)

2. 燃料サーチャージの改定条件と算出上の上昇額テーブルは下表のとおり。

調達している軽油価格	燃料サーチャージ 算出上の代表価格	上昇額
基準価格	100.00 円	—
～ 100.00 円	廃止	
100.00 超 ～ 105.00 円	102.50 円	2.5 円
105.00 超 ～ 110.00 円	107.50 円	7.5 円
110.00 超 ～ 115.00 円	112.50 円	12.5 円
115.00 超 ～ 120.00 円	117.50 円	17.5 円
120.00 超 ～ 125.00 円	122.50 円	22.5 円
125.00 超 ～ 130.00 円	127.50 円	27.5 円
130.00 超 ～ 135.00 円	132.50 円	32.5 円
135.00 超 ～ 140.00 円	137.50 円	37.5 円
140.00 超 ～ 145.00 円	142.50 円	42.5 円
145.00 超 ～ 150.00 円	147.50 円	47.5 円
150.00 超 ～ 155.00 円	152.50 円	52.5 円
155.00 超 ～ 160.00 円	157.50 円	57.5 円
160.00 超 ～ 165.00 円	162.50 円	62.5 円
165.00 超 ～ 170.00 円	167.50 円	67.5 円
170.00 超 ～ 175.00 円	172.50 円	72.5 円
175.00 超 ～ 180.00 円	177.50 円	77.5 円
180.00 超 ～ 185.00 円	182.50 円	82.5 円

※ 代表価格は、刻み幅の0.5倍の額を基準価格に加算した額とした。

※ 上昇額は、(代表価格－基準価格)とした。

3. サーチャージ額算出のための車両燃費は以下のとおり。

車種	燃費
小型車（2 t クラス）	●● km/L
中型車（4 t クラス）	●● km/L
大型車（10 t クラス）	●● km/L
トレーラー（20 t クラス）	●● km/L

自社の保有車種の車両燃費を記載

4. 時間制運賃を算出する上での条件（平均走行距離）は以下のとおり。

車種	8 時間制	4 時間制
小型車（2 t クラス）	100km	50km
中型車（4 t クラス）	130km	60km
大型車（10 t クラス）	130km	60km
トレーラー（20 t クラス）	130km	60km

5. 端数処理等

端数処理として、円単位に小数を切り上げる。

※赤字は平成11年公示の運賃料金適用方の数値です。作成する際の参考としてください。

〔記載例〕

別添2

貸切運賃料金適用方

I. 距離制運賃料金適用方

(適用する運送)

1. この運賃及び料金は、一般貨物自動車運送事業として車両を貸し切って貨物を運送する場合に適用します。

(特殊運賃との関係)

2. この運賃及び料金は、特殊な貨物の運送、特殊車両を使用する運送等であって、別途これらに関する運賃及び料金を届け出た場合には適用しません。

(運賃料金計算の基本)

3. (1) 運賃及び料金は使用車両1車1回の運送ごとに計算します。
(2) 車両が2両以上連結して運送される場合であって、荷主が同一であり、かつ、発地及び着地が同一のときは2両以上の車両を1車として計算します。ただし、荷主が異なるとき又は発地若しくは着地が異なるときは、それぞれの車両を1車として計算します。
(3) 継続かつ反復して行う貨物の運送の契約において、あらかじめ特定の車両を基準として運賃を算出した場合には、実際の使用車両にかかわらず、当該基準車両による運賃を適用することができます。

(運賃計算の方法)

4. (1) 運賃は使用車両の最大積載量及び運送距離によって、運賃率表に掲げてある金額(以下「基準運賃」といいます。)の上下それぞれ10%の範囲内で計算します。なお、10kmに満たない走行キロは10kmに切り上げて計算します。
(2) 割増率又は割引率が適用される貨物は、基準運賃にそれぞれの率を乗じた金額を基準運賃に加減した上で、上下それぞれ10%の範囲内で計算します。

(端数の処理)

5. 運賃又は料金を計算する場合において生じた端数は、次により処理します。
(1) 計算した金額が10,000円未満のときは、100円未満の端数は100円に切り上げます。
(2) 計算した金額が10,000円を超えるときは、500円未満の端数は500円に、500円を超え、1,000円未満の端数は1,000円に切り上げます。

(キロ程の計算)

6. 運送距離は、1車1回の運送ごとの実車キロ程によるものとし、経路が二途以上あるときは、その最短となる経路のキロ程により計算します。ただし、荷送人が経路を指定したときは、その指定した経路のキロ程によります。

(割増率及び割引率の重複する場合の計算)

7. 2種以上の割増率又は割引率が重複する場合は、それぞれの率をあらかじめ加減した上で計算します。

(個建契約運賃)

8. 長期にわたって計画的かつ大量に出荷される次の(1)の各号に該当する貨物の運送契約(文書をもって運送契約を締結したものに限り、)をする場合には、運送区間ごとに(2)の式により算出した1個当りの運賃を適用することができます。

ただし、1回の出荷量が基準車両の積載可能個数の60%以上ある場合に限り、なお、長期契約割引が適用される場合は適用しません。

(1) ①単一品目であること

②荷姿が一定していること

③1個の重量又は容積が一定していること

(2) {基準車両(運賃計算の対象となる車両)のトン数による基準運賃}

÷{(当該貨物の基準車両積載可能個数)×70%}

(特殊車両割増)

9. 冷蔵・冷凍車両を使用した場合は、基準運賃×0.2により算出した金額(その他の特殊車両を使用した場合は、別途定める割増率により算出した金額)を加算します。ただし、積載した貨物に別途定める品目別割増を適用した場合には適用しません。

(休日割増)

10. 日曜祝祭日及びそれにまたがる運送については、次の式により算出した金額を加算します。

日曜祝祭日に運送した運送距離に対応する基準運賃×0.2

(深夜・早朝割増)

11. 深夜・早朝割増の適用時間(午後10時から午前5時まで)に行われる運送については、次の式により算出した金額を加算します。

深夜・早朝割増適用時間に運送した運送距離に対応する基準運賃×0.2

(品目別割増)

12. 貨物が割増品目に該当する場合には、所定の割増率を適用します。1車の貨物に割増率を適用する貨物と適用しない貨物又は異なった割増率を適用する貨物が含まれている場合には、そのうちの最高の割増率を適用します。

(特大品割増)

13. 貨物の長さ(高さを含みます。)、重量又は容積が特に大きなきときは、所定の割増率を適用します。

(悪路割増)

14. 運送区間中に悪路割増適用区間に該当する部分がある場合には、次の式により算出した金額を加算します。

悪路割増区間の運送距離に対応する基準運賃×0.3

(冬期割増)

15. 運送区間中に冬期割増適用地域に該当する部分がある場合には、次の式により算出した金額を加算します。

冬期割増区間の運送距離に対応する基準運賃×0.2

(地区割増料)

16. 貨物の発地又は着地が、別添1の区域である場合には所定の地区割増料を収受します。ただし、貨物の発地又は着地が同一区域内又は隣接区域間の場合は、発地又は着地のいずれか一方についてのみ収受します。

(長期契約割引)

17. 3ヶ月以上にわたる契約（文書をもって運送契約を締結したものに限り。）により、継続かつ反復して運送される貨物（1回の運送距離が200キロメートルを超えるものに限り。）については、基準運賃に対して15%以内の割引率を適用することができます。

(往復貨物の割引)

18. 1個の契約で、同一の車両により通常の車両回送の範囲内において往復貨物の運送（それぞれ100キロメートル以上の運送に限り。）を行う場合であって、次の（1）又は（2）に該当するときには、往路及び復路の基準運賃について、それぞれ20%以内の割引率を適用することができます。ただし、長期契約割引が適用される場合は適用しません。

（1）往路及び復路の貨物が同一荷主のものである場合

（2）往路の荷主が復路の貨物をあっせんし、その運賃料金の支払いについて連帯責任を負う場合

(待機時間料)

19. 車両が貨物の発地又は着地に到着後、荷主の責により待機した時間（貨物の積み込み又は取卸しの時間を除きます。）が30分を超える部分については、所定の待機時間料を収受します。なお、1回の運送において2箇所以上で待機が発生する場合は、それぞれについて計算するものとします。

(積込料、取卸料及び附帯業務料)

20. 積み込み又は取卸しを引き受けた場合における積込料及び取卸料並びにその他品代金

の取立て、荷掛金の立替え、貨物の荷造り、仕分け、保管、検収・検品、横持ち及び縦持ち、棚入れ、ラベル貼り、はい作業その他の運送に附帯する業務に係る附帯業務料については、別に定めるところにより収受します。なお、積込料又は取卸料を収受する場合において、J I S規格のパレット（荷主側の提供したものに限り、）の使用等により積込み又は取卸しに要する時間が短縮された場合には、短縮された時間について、積込料又は取卸料から減額します。

（消費税及び地方消費税の加算方法）

21. （１）運賃及び料金の総額に消費税法等に基づく税率を乗じて計算します。
- （２）前号により計算した金額に1円未満の端数が生じた場合は、1円単位に四捨五入します。

（実費）

22. 有料道路利用料、フェリー利用料その他実費として生じる費用については、当該実費として生じた額を収受します。

（計算の順序）

23. 運賃及び料金の計算は、次の順序により行います。
 - ①使用車両及び運送距離による運賃の計算
 - ②割増率及び割引率の適用の計算
 - ③上下それぞれ10%幅の適用計算
 - ④5による運賃の端数処理
 - ⑤諸料金（端数処理を含む。）の計算
 - ⑥21による加算の計算
 - ⑦実費の計算

（その他）

24. この運賃及び料金の適用に関して、この適用方に定めのない事項については、法令に反しない範囲で、当事者間の取り決め又は慣習によるものとします。

Ⅱ. 時間制運賃料金適用方

(運賃料金計算の基本)

1. この運賃及び料金は、一般貨物自動車運送事業として車両を貸し切って貨物を運送する場合であって、荷主との契約で時間制運賃によることとした場合に適用します。
2. この運賃及び料金は、使用車両及び時間制の別（8時間制又は4時間制の別）ごとに計算します。

(キロ程及び時間の計算)

3. 走行キロ及び作業時間の計算は、使用車両が荷主の指定した場所に到着したときからその作業が終了して車庫に帰着するまでに行います。なお、10kmに満たない走行キロは10kmに、1時間に満たない作業時間は1時間に、それぞれ切り上げて計算します。

(従業員)

4. 運送に従事する従業員の数は、1車につき1人とします。

(距離制運賃料金適用方の準用)

5. 距離制運賃料金適用方の1（適用する運送）、2（特殊運賃との関係）、4（運賃計算の方法）、5（端数の処理）、7（割増率及び割引率が重複する場合の計算）、9から15まで（特殊車両割増、休日割増、深夜・早朝割増、品目別割増、特大品割増、悪路割増、冬期割増）、20から24まで（積込料、取卸料及び附帯業務料、消費税及び地方消費税の加算方法、実費、計算の順序、その他）は、時間制運賃料金を適用する場合に準用します。

○運賃割増率

1. 品目別割増

項目	内訳	割増率
易 損 品	1. レントゲン機械, 電子計算機等精密機器及びその部品 2. 宮, みこし, 仏壇, 神仏像 3. ピアノ, その他楽器類及びその部品又は付属品 4. 度量衡器及びその部品	3割以上の臨時の約束による。
危 険 品	1. 高圧ガス保安法に定める品目 2. 消防法に定める品目 3. 毒物及び劇物取締法に定める品目	2割以上の臨時の約束による。ただし特定毒物については, 5割以上の臨時の約束による。
	4. 火薬類取締法に定める品目 5. 放射性物質及びこれに類するもの	10割以上の臨時の約束による。
特 殊 物 件	1. 引越荷物, 生きた動物, 鮮魚介類	2割
	2. 屍 体	5割
汚 わ い 品	生さなぎ, 骨の類, ぼうこう, あま皮, うろこ, 内臓, 塵芥等の廃棄物, し尿	4割
貴重品, 高価品	貨幣, 証券類, 貴金属その他高価品で標準貨物自動車運送約款第9条第1項に掲げる貨物	5割以上の臨時の約束による。

2. 特大品割増

1個の長さが荷台の長さにその長さの1割を加えたもの, 重量1トン又は容積5立方メートル以上のもの及び積載した状態において車両の高さが3.8メートル以上又は長さが12メートル以上となるもの。	3割以上の臨時の約束による。
--	----------------

3. 悪路割増

道路法による道路及びその他の一般交通の用に供する場所ならびに自動車道以外の場所に限る。	3割
---	----

4. 冬期割増

地域	期間	割増率
北海道	自 11月16日	2割
	至 4月15日	
青森県・秋田県・山形県・新潟県・長野県・富山県・石川県・福井県・鳥取県・島根県の全県	自 12月1日 至 3月31日	2割
岩手県のうち, 北上市・久慈市・遠野市・二戸市・九戸郡・二戸郡・上閉伊郡・下閉伊郡・岩手郡・和賀郡 福島県のうち, 会津若松市・喜多方市・南会津郡・耶麻郡・大沼郡・河沼郡 岐阜県のうち, 高山市・大野郡・下呂市・郡上市		

5. 地区割増料

地域	車種別			
	小型車	中型車	大型車	トレーラー
東京都特別区、大阪市	935 円	1,185 円	1,605 円	2,040 円
札幌市、仙台市、千葉市、横浜市、船橋市、川崎市、相模原市、浜松市、名古屋市、京都市、東大阪市、堺市、尼崎市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市、鹿児島市	545 円	745 円	1,040 円	1,355 円

○積込料及び取卸料

	上限	下限
●時間ごとに	●円	●円

※その他荷役機械及び副資材を使用した場合等には別途実費を収受

※作業員1人あたりの料金

自社に適した内容で記載

○ I. 距離制運賃料金適用方 9. 特殊車両割増の別表

※告示に規定される冷蔵・冷凍車両以外の特殊車両に係る割増率は、下表のとおりとします。

特殊車両	割増率
ダンプ車両	●割
タンク車両	●割
海上コンテナ車両	●割
積載型トラッククレーン車両（ユニック車両等）	●割
塵芥車両	●割

必要に応じて、自社に適した特殊車両割増率を設定して記載
(特殊車両割増の別表が必要ない場合は、この別表の規定は不要)

**〔記載例〕 ※福岡県内に主たる事務所(本社)、佐賀県・熊本県・東京都に営業所がある場合
一般貨物自動車運送事業運賃変更届送付先**

主たる事務所の所在地を管轄する運輸支局に☆、営業所の所在地を管轄する運輸支局、運輸局に○を記入

運輸局名	支局名						
北海道	札幌	函館	室蘭	帯広	釧路	北見	旭川

運輸局名	支局名					
東北	宮城	福島	岩手	青森	山形	秋田

運輸局名	支局名							
関東	東京	神奈川	埼玉	群馬	千葉	茨城	栃木	山梨
○	○							

運輸局名	支局名			
北陸信越	新潟	長野	石川	富山

運輸局名	支局名				
中部	愛知	静岡	岐阜	三重	福井

運輸局名	支局名					
近畿	大阪	京都	奈良	滋賀	和歌山	兵庫

運輸局名	支局名				
中国	広島	鳥取	島根	岡山	山口

運輸局名	支局名			
四国	香川	徳島	愛媛	高知

運輸局名	支局名						
九州	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島
○	☆	○		○			

運輸局名
沖縄

【事業者名】 ●●●●●●

【担当者名】 ●●●●●●

【連絡先(メールアドレス)】 ●●●●●●

標準的な運賃に係る手続き提出書類一覧

標準的な運賃		標準的な運賃をそのまま使う場合
標準的な運賃に係る 手続き関係(※1)	運賃料金変更届出書 【2ページ参照】	○
	燃料サーチャージ(別添1) 【3～4ページ参照】	△ (設定任意)
	運賃料金適用方(別添2) 【5～12ページ参照】	○
	運賃変更届送付先 【13ページ参照】	△ (県外に営業所がある場合添付)
標準運送約款(※2)		新約款を使用している場合
標準運送約款に係る 手続き関係(※3)	運賃料金変更届出書	×
	料金の額(別紙①)	×
	運賃料金適用方(別紙②)	×
		旧約款を使用している場合
		○
		○
		○

(※1) 標準的な運賃に係る運賃料金変更届出書の様式は、福岡県トラック協会HP (<https://hearty.or.jp/publics/index/24/>) からダウンロードして下さい

(※2) 新約款：平成29年11月4日改正内容を含む約款、旧約款：平成29年11月4日改正前の約款

(※3) 標準運送約款に係る運賃料金変更届出書の様式は、福岡県トラック協会HP (<https://hearty.or.jp/publics/index/24/>) からダウンロードして下さい